



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 31年 3月 31日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ
団体名 住みたいまち幡多学区を創り隊

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	住みたいまち幡多学区を創り隊
事業実施区域 (小学校区)	幡多小学校区
① 事業実施内容	1) 組織・体制の強化・拡大 ○ 若い世代が活躍できる組織・体制を強化・拡大していきます 2) 学区内の活性化を図る活動 ① 発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動 ② 地域交流活動(誰もが気軽に参加できる事業を企画・運営) ・「泥んこ遊びの会」を幡多学区防災訓練と同日程に実施 ③ 幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現) 1. 学区の行事に積極的に参加して幡多学区の活性化に努める。 1) イメージキャラクター学区内の定着化 2) 主な学区行事だけでなく、町内会行事、地域のあいさつ運動など、もっと多くの場を利用する。(イメージキャラクターの活用) 3) 外部に対してPR活動 2. 地域に根付く活動を行う 1) 幡多学区 防犯の日の設定 2) 地域あいさつ運動推進
② 解決を目指した課題	・「安心・安全 住みたいまち幡多学区」実現のためには、10年後、20年後を担う子供たちが育つ土壌を、今まで作ってくださった先輩方から引き継いでいく担い手が不足している。 ・私たち現役世代の30～50代は日々の生活や仕事に追われ、自分たちの時間を割いてまでなかなか地域づくりに参画することが難しいと考える人が多い。 ・興味のある行事に参加する人は多いが、参画してくれる人が少ない。 ・各町内会や、各種団体でも人材不足が深刻な課題である。 ・新しい事業があがってもなかなか、実現に向けて進めていく人材がいない。 ・学区全体を活性化するために起爆剤的な要素がなかった。

◎1)、2)の内容を実施することを目標に進めてきました。

1)組織・体制の強化・拡大

・若い世代が活躍できる組織・体制を強化・拡大

2)学区内の活性化を図る活動

- ① 発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動
- ② 地域交流活動(誰もが気軽に参加できる事業を企画・運営)
 - ・「泥んこ遊びの会」を幡多学区防災訓練と同日程に実施
- ③ 幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現)
 - ③-1. 学区の行事に積極的に参加して幡多学区の活性化に努める。
 - 1.イメージキャラクター学区内の定着化
 - 2.主な学区行事だけでなく、町内会行事、地域のあいさつ運動など、もっと多くの場を利用する。(イメージキャラクターの活用)
 - 3.外部に対してPR活動
 - ③-2. 地域に根付く活動を行う
 - 1.幡多学区 防犯の日の設定
 - 2.地域あいさつ運動推進

1)については、昨年同様、学区の数多くの行事に参加・協力してまいりました。

特に2回目となる「泥んこ遊び」は昨年同様防災訓練と一緒に行いました。運営・実施も、幡多学区の皆様(各町内会長、自主防災会、婦人会、愛育委員会、消防団)の全面的な協力があった、無事成功することができました。特に今年度は西日本豪雨災害があり、参加者も多く、11月23日の第2回目の防災訓練(災害マップ作り)にも参加し、各町内会の役員とも交流を深め、メンバー増には、つながりませんでした、多くの方とかわり、点が線、面となってくることが実感できました。

2)については、連合町内会、交通安全対策協議会より支援予算が総会にて否決され、予算執行されなかったため、活動そのものはできるが、事業ができる懸念がありました。

ただ、PR用の物品については作成ができませんでした、ウィズはあと及び有志者の支援により、泥んこ遊びと、講演会については実施することができました。

①は、昨年好評だったため、「子どもに寄り添う支援とは？」と題して佐藤莞岡山大学教授と、南恭子放課後ラボ講師による2回目の講演会を開催いたしました。また幡多小学校の支援クラスの状況や通級について、渡辺教頭先生に報告もいただき、今回は議員の方や、各町内会長様、幡多小学校の管理職の方、見守り隊、民生委員など80名を超える参加をいただきました。

また、池田滋先生を迎え、特別講座として保護者の悩み相談会を開催いたしました。

今年も、9月に高屋パークフェスティバルで子供たちとともに出店、併せて、高屋クエストの運営、小中学生のボランティア支援も行いました。

②の「泥んこ遊びの会」については上記で述べた通りでございます。

また、今年も「そうめん流し」を、様々な会で実施いたしました。子供たちだけでなく、保護者の方も楽しく、また自然と協力をし、関わり、入り口としてはよい活動だと感じました。

③の幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現)では、「はたワン」の定着と、活用ということで、学区の主だった行事はもとより、小学校の行事、親子クラブなど、様々なところで活躍しました。

また、あいさつ運動や、交通安全の活動にも参加し、小学校の配布物には「はたワン」が必ず印刷されており、運動会では幡多小学校オリジナル体操「はたワンストレッチ」を行うなど、「はたワン」が浸透してきました。

また、毎年行うパザーでは、PTAと出店して下さる業者の方からの提案で、パン、キーホルダーなど「はたワン」グッズをその間のみの限定で作成して頂き、子供たちだけでなく、保護者や、地域の方からも反響がよく、「はたワン」普及活動に一躍かっただけでした。

③-2の「あいさつ運動」は小学校にて取り組んでおり、「はたワン」とともに笑顔で明るい地域づくりの基盤づくりとして、毎月1回行うことができました。

ただし「幡多学区防犯の日」の設定については今の段階では難しく、防犯強化のため、今後取組等を継続して小学校、各種団体と検討していきます。

④企画等の工夫と情報公開	イメージキャラクター「はたわん」のPR活動は、小学校を中心にする事で、一気に学区全体に浸透していくことができました。 情報公開は、小学校が発行する「学校通信」や、HPなどまたは回覧板、各町内会の掲示板などで公開しております。学区の電子町内会の掲示板にも物せていただいています。		
⑤次年度計画	1)組織作りと、横のつながりの強化 ・一緒に活動して頂ける仲間づくりを継続していくことと、各種団体との協力強化する。 2)学区内の活性化を図る活動 ① 発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動 ・当事者の保護者の方が相談できる会を充実させ、安心して子育てができるための支援(専門家を呼び相談会や、参考図書を充実させる)や、当事者たちが家から出て集えるイベントの支援を行います。 ・地元企業に協力して頂き、まずは保護者対象の見学会を開催し、子供たちの自立支援を進める。 ・講演会、勉強会、交流会などを実施し、当事者とどう関わればいいのかわからない方に対して情報提供を行い、理解者、支援者を増やします ・引きこもりがちな子供たちに人とのかかわる機会を作り(お祭りのブース出店、研修会に参画する等)、地域の方と一緒に活動をし、お互いを知り合い、違和感がない環境をつくります ② 幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現) 1)イメージキャラクター学区内の定着化 2)主な学区行事だけでなく、町内会行事、地域のあいさつ運動など、もっと多くの場を利用する。(イメージキャラクターの活用) 3)外部に対してPR活動(ゆるキャラ選手権などへ出場) 4)地元企業と連携し「はたワングッツ」作成・販売 5)地域あいさつ運動推進 小学校での定期的なあいさつ運動と連携し、地域で取り組む支援を行う		
⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	泥んこ遊びや、イメージキャラクター「はたワン」の活用など、小学校を先頭に、多くの団体、ひとが関わり、協力して頂かなければ実現できなかった事業ばかりでした。改めて熱意のある、温かい学区だと思いました。活動を通じて会のメンバーに各町内から少なくとも1名加入していただき、一緒に活動する仲間が増えれば、もっと多くの問題を解決していけると考えております。横のつながり、縦のつながりをこれからも持ち、助け合って学区全体を巻き込んだ活動が今後もできるよう頑張りたいと思います。 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="256 1653 954 2016"> ○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 ・組織を学区内全体に広げて活動を行うことが望ましい。 ・課題に優先順位を設け数年で実施してみてもどうか ・担い手不足以前に、地域住民の交流が少ないのでは。 ・イメージキャラクター「はたワン」はよい取り組みだ。 ・「はたワン」に頼りすぎている。 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。 (理由:) </td><td data-bbox="954 1653 1404 2016"> 助言等の内容について、改善ができましたか。 Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった </td></tr> </table>	○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 ・組織を学区内全体に広げて活動を行うことが望ましい。 ・課題に優先順位を設け数年で実施してみてもどうか ・担い手不足以前に、地域住民の交流が少ないのでは。 ・イメージキャラクター「はたワン」はよい取り組みだ。 ・「はたワン」に頼りすぎている。 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。 (理由:)	助言等の内容について、改善ができましたか。 Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった
○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 ・組織を学区内全体に広げて活動を行うことが望ましい。 ・課題に優先順位を設け数年で実施してみてもどうか ・担い手不足以前に、地域住民の交流が少ないのでは。 ・イメージキャラクター「はたワン」はよい取り組みだ。 ・「はたワン」に頼りすぎている。 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。 (理由:)	助言等の内容について、改善ができましたか。 Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった		

⑧事業実施経過

月	活動内容
4月	11日 幡多小学校入学式(はたワン登場、式後のクラス写真撮影に参加) 15日 スタッフ会議実施(主要メンバーで方向性の確認と事業計画確認) 19日 ウィズはあとスタッフ会議 22日 防災会・泥んこ遊び打合せ(学区防災会委員及びPTA)
5月	22日 幡多学区交代協総会、防災会・泥んこ遊び打合せ 23日 幡多学区連合町内会総会 はたワン貸出について打ち合わせ 24日 幡多学区社会福祉協議会総会 27日 幡多小運動会(幡多小オリジナル はたワンストレッチ) 28日 ウィズはあとスタッフ会議
6月	10日 防災会・泥んこ遊び打合せ 13日 防災会・泥んこ遊び打合せ 15日 ウィズはあとスタッフ会議
7月	5日 子育てクラブそうめん流し 10日 高屋パークフェスティバル実行委員会 13日 泥んこ遊び安全対策及び会場準備 15日 防災訓練及び泥んこ遊び 21日 ウィズはあとスタッフ会議 22日 ウィズはあと・おひさま会合同そうめん流し協力
8月	7日 高屋パークフェスティバル実行委員会 28日 高屋パークフェスティバル実行委員会
9月	8日 ウィズはあとスタッフ打ち合わせ 15日 高屋パークフェスティバル参加(高屋クエスト、発達障害の子どもたち ブース出展) 21日 幡多小学校にて交通安全啓発・あいさつ運動
10月	7日 幡多学区敬老会にてお披露目・PR 8日 幡多学区運動会開会式にてお披露目・PR 19日 ウィズはあとスタッフ会議(2月10日の講演会打ち合わせ) 26日 スタッフ会議(中間報告反省会)
11月	16日 ウィズはあとスタッフ会議(2月10日の講演会打ち合わせ) 23日 防災訓練(防災マップ作り)参加

12月	21日 ウィズはあとスタッフ会議(2月講演会に向けて)
1月	12日 幡多学区新年互例会参加 18日 ウィズはあとスタッフ会議(2月開催の講演会に向けた準備) 17日 スタッフ会議(次年度打ち合わせ)
2月	6日 発達障害を理解しよう講演会最終打ち合わせ 9日 幡多小学校開港記念日 あいさつ運動参加 22日 発達障害を理解しよう講演会開催 23日 ウィズはあとスタッフ会議(講演会反省会)
3月	17日 幡多小学校卒業式に参加 15日 ウィズはあと特別講座 24日 スタッフ会議(全体の反省、次年度の取り組み)

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算	決 算	備 考
岡山市補助金	282,000	86,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	0		
参加者負担金	0		
協賛金	282,000	30,000	ウィズはあと
寄付、他収入	0	56,019	有志
計	564,000	172,019	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算	決 算	備 考
①消耗品費	10,000 40,000 60,000 60,000 60,000	7,114 25,812 0 0 0	①会議・講演会レジメ用紙 ②泥んこ遊び場保護シート 泥除けマット、養生シート 立ち入り禁止杭用角材 ③スタッフ用Tシャツ 2,000 円×30 着 ④たすき 50本×1,200 円 ⑤PR活動用缶バッジ 56 mm用 1,000 個×60 円
②食糧費	30,000	3,359	①会議、準備時のスタッフ茶代
③印刷製本費	30,000 8,000 60,000	0 36,720 0	①講演会用チラシ 6,000 枚 ②ボランティア活動証明書 100 枚 ③PR 活動用品 (シール作成 5,000 枚)
⑥通信運搬費	10,000	574	封筒、切手代等
⑨使用料	5,000	0	泥んこ遊び会場の水道使用量
⑩原材料費	25,000	0	①泥んこ遊び場看板作成費 (紙、ナイロン、コンパネ、杭等)
⑪委託料	100,000	73,440	①泥んこ遊び場内整備及び安全対策(柄、破片撤去、土手(観客部)づくり等) (重機、人件費、廃材処分費等)
⑬報償費	50,000 16,000	25,000 0	①講師謝礼(2名分) ②託児謝礼 (2,000 円×4 名×2 回 計8名分)
計	564,000	172,019	